



# アブラナ科野菜の 根こぶ病対策について



根こぶ病に罹ったアブラナ科野菜の様子

## 根こぶ病とは？

根にこぶができ、茎葉がしおれたり枯れたりする病気です。菌は土の中で10年以上生き、キャベツやブロッコリーなど、アブラナ科の野菜が感染します。

## 耕種的防除

### ▼連作を避けましょう

アブラナ科の野菜を連作すると発生しやすいです。以前に発生があった場所には、なるべくアブラナ科以外の野菜を植えましょう。

### ▼土のpHを調整しましょう

根こぶ病菌は酸性の土を好みます。石灰質資材を散布してpHを6.5〜7.5に保ちましょう。

### ▼排水をよくしましょう

水はけが悪い圃場で感染しやすくなります。高畝にしたり、堆肥などの有機物を散布して、水はけをよくしましょう。

## 薬剤防除

根こぶ病が出たことがある圃場では、あらかじめ薬剤散布をしましょう。

### 根こぶ病に対応のある薬剤の例

商品名	対象作物	倍率	使用量	使用時期	使用方法
ネビジン粉剤	キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー、非結球アブラナ科葉菜類等	500倍	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壌約2.5〜7L) あたり2L	は種または定植前	全面土壌混和または作条土壌混和
			2000倍	250ml/株	定植前日〜当日
ランマンフロアブル	キャベツ、ハクサイ、ブロッコリー等	2000倍	250ml/株	収穫14日前まで	株元灌注

## 発生したら…

- ▼株を根ごと掘り上げて、圃場の外に捨てましょう。
- ▼発生した圃場で使った農機具や長靴は、丁寧に洗って菌を移動させないようにしましょう。

# 水稻のカメムシ対策について

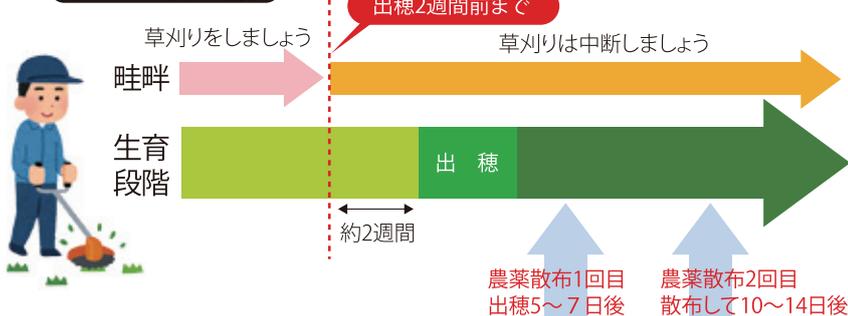
農薬名	散布量	使用時期/使用回数	備考
スタークル豆つぶ	250g/10a	収穫7日前まで/ 3回以内	ひしゃくを使い、田んぼに入らなくても散布できる。
スタークル粒剤・粉剤DL	3kg/10a		粉剤は飛散するため、散布時は風の強さを確認する。住宅が密集している地域では、使わないようにする。
トレボン粉剤DL	3〜4kg/10a		

カメムシ類の被害を受けた米は、斑点米となってしまう。

▼出穂2週間前までに草刈りを行い、カメムシ類の生息地をなくしましょう。逆に、出穂後以降に草刈りを行うと水田に移動するので、**出穂後は草刈りを行わない**ようにしましょう。

▼薬剤防除は、**出穂5〜7日後に1回目の散布を行い、10〜14日後に追加散布**をしましょう。

### カメムシ防除の流れ



カメムシに吸汁されて斑点米になった玄米

# 水稻のウンカ対策について

トビイロウンカとは？

成虫は4〜5mmで、体色は脂ぎった褐色です。日本へは、梅雨頃に中国大陸からジェット気流に乗って飛んできます。8月頃から急激に増え、被害が大きいと「坪枯れ」を起こします。通称「秋ウンカ」と呼ばれます。



トビイロウンカ 写真：大阪府環境農林水産部農政室推進課病害虫防除グループ

今年の発生状況について

今年は何年より1月ほど早く、5月中旬に大阪で飛来が確認されました。頭数の増える孫世代(第2世代)の発生が出穂前になるため、7月中旬頃に本田防除するのが有効です。

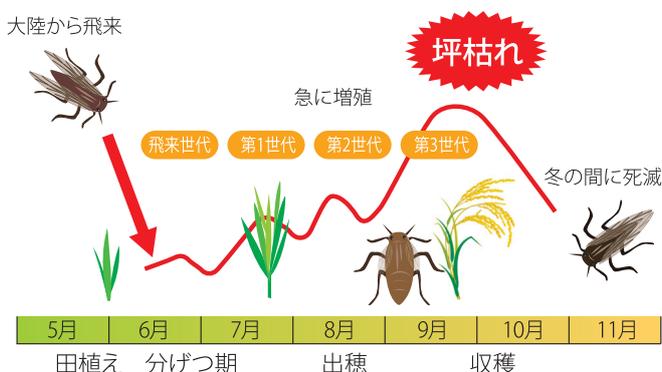
薬剤防除

▼本田施用剤

本田防除が効果的なタイミングは、幼虫の時期です。病害虫防除グループなどの情報に注意し、防除適期を把握しましょう。出穂以降はカメムシと同防除しましょう。

収穫が近づく頃の第3世代の防除は、農薬の収穫前日数に注意して散布するか、早めに刈るか判断しましょう。

トビイロウンカの発生パターン



▼箱粒剤

来年度はウンカに適用のある箱粒剤を使用して、初期の発生を防ぎましょう。適切に使用すれば、1〜2か月は残効があります。

主な防除薬剤 ※農薬名が赤字の剤はウンカに対する比較的新しい有効成分を含む

種類		農薬名	散布量または希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数
箱施用剤	殺虫殺菌剤	ブーンゼクテラ箱粒剤	育苗箱1箱 当たり50g	移植3日前～ 移植当日	1回
		サンフェスタ箱粒剤			1回
	殺虫剤	フェルテラチェス箱粒剤			1回
本田施用剤	殺虫剤	エクシード粉剤DL	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内
		エクシードフロアブル	2000倍	収穫7日前まで	3回以内
		エミリアフロアブル	1000倍	収穫7日前まで	2回以内
		スタークル粒剤	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内
		スタークル豆つぶ	250g～500g/10a	収穫7日前まで	3回以内
		スタークル粉剤DL	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内
		パダンバッサ粒剤(劇物)	3～4kg/10a	収穫30日前まで	5回以内
		トレボン粉剤DL	3～4kg/10a	収穫7日前まで	3回以内
		トレボン乳剤	1000～2000倍	収穫14日前まで	3回以内

※1) 粒剤、豆つぶ剤は湛水状態で使用し、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。

※2) 豆つぶ剤は、藻類やウキクサが多発している水田では、薬剤の拡散が妨げられるので使用しない。

農業者向けLINEにて  
防除等の情報を配信しています!!

病害虫防除は、発生前や発病初期の対応が大切です。組合員のみならず、が作られる作物を守るため、タイムリーな情報をお届けしますので、是非、お友だち登録をお願いいたします!

LINEの  
お友だち登録  
はこちら!

